

SMB Cファイナンスサービス株式会社は、統合決済サービス「決済ステーション」で取扱うクレジットカード決済において、クレジットカード業界におけるセキュリティ基準である「PCI DSS (Payment Card Industry Data Security Standard) Ver 1. 2」の認証を、認証審査機関である BSI グループ・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：竹尾 直章）より取得いたしました。

統合決済サービス「決済ステーション」では、インターネット上でクレジットカード決済をはじめとした複数の決済手段を提供しております。SMB Cファイナンスサービス株式会社では、インターネットならではのウイルスや外部の攻撃などからお客さまの大切な情報を保護し、システムのセキュリティを確保することを最重要課題として位置づけ、PCI DSS の完全準拠に向けて最優先で取り組んでまいりました。

今般、統合決済サービス「決済ステーション」は、PCI DSS の認証を取得したことにより、セキュリティの国際基準を満たすことが証明されたこととなります。

SMB Cファイナンスサービス株式会社では、今後、更なるセキュリティレベルの向上に取り組むべく、努力してまいります。

-----PCI DSS とは-----

VISAをはじめとした国際カードブランド5社(VISA、MasterCard、JCB、AmericanExpress、Discover)が共同で策定した、クレジットカード会員データの保護に関する国際セキュリティ基準です。その内容に関しては、主に、クレジットカード会員データを保護するために安全性の高いネットワーク技術の導入や社員が情報を取り扱う際の体制整備等の具体的な12要件が、以下のカテゴリーで規程されています。

1. カード会員データを保護するためにファイアウォールを導入し、最適な設定を維持すること。
2. システムパスワードと他のセキュリティパラメータにベンダ提供のデフォルトを使用しないこと。
3. 保存されたカード会員データを安全に保護すること。
4. 公衆ネットワーク上でカード会員データを送信する場合、暗号化すること。
5. アンチウイルスソフトウェアまたはプログラムを使用し、定期的に更新すること。
6. 安全性の高いシステムとアプリケーションを開発し、保守すること。
7. カード会員データへのアクセスを業務上の必要範囲内に制限すること。
8. コンピュータにアクセスする利用者毎に個別のIDを割り当てること。
9. カード会員データへの物理的アクセスを制限すること。
10. ネットワーク資源およびカード会員データに対するすべてのアクセスを追跡し、監視すること
11. セキュリティシステムおよび管理手順を定期的にテストすること。
12. 従業員と契約社員のための情報セキュリティに関するポリシーを整備すること。